



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬株式会社

コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小林 秀樹 TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	10,433	△1.0	346	△55.8	414	△52.8	295	△41.9
26年3月期第1四半期	10,541	2.3	785	33.8	877	27.5	508	23.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 551百万円 (△22.3%) 26年3月期第1四半期 710百万円 (181.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	10.64	-
26年3月期第1四半期	18.35	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	53,608	34,842	64.9
26年3月期	51,269	33,941	66.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 34,774百万円 26年3月期 33,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	7.00	-	7.00	14.00
27年3月期	-	-	-	-	-
27年3月期(予想)	-	7.00	-	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	2.4	150	△78.9	300	△64.4	200	△61.7	7.19
通期	43,000	8.9	1,000	39.6	1,300	26.1	800	61.4	28.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	30,563,199株	26年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,740,544株	26年3月期	2,756,244株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	27,813,155株	26年3月期1Q	27,737,100株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、かつ様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	9
(1) 主力品の売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が一部見られるものの、景気は総じて堅調に推移し、企業収益の改善に伴い設備投資や雇用環境等も緩やかな回復基調を辿りました。

医薬品業界におきましては、財政再建を背景とした医療費抑制策の強化が一段と進んでおり、本年4月に薬価改定および消費税増税が同時に実施されたことも相俟って引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと当社グループでは、経営面では、中期経営計画「ASKA PLAN 2015」の方針に基づき、本年5月に武田薬品工業株式会社とオーソライズド・ジェネリック「カンデサルタン『あすか』」に関する事業化契約を締結するなどジェネリック事業の拡大を進めております。また、アニマルヘルス事業環境の急速な変動に即応することを目的として、同事業を6月1日付で連結子会社のあすかアニマルヘルス株式会社に分割承継するなど、柔軟かつスピーディーな経営を展開してまいりました。販売面では、新製品として後発医薬品2成分5品目を上市しましたが、本年4月の薬価改定、および長期収載品の売上減少の影響等から、売上高は104億3千3百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

医薬品分野では、本年2月にLH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」を発売したことに加え、適正使用の推進により緊急避妊剤「ノルレボ」の売上が伸びたほか、後発医薬品のプロトンポンプ阻害剤「ラベプラゾール」も売上増加に貢献しましたが、経皮吸収型鎮痛消炎剤「セルタッチ」や長期収載品である前立腺肥大症・癌治療剤「プロスタール」、消化性潰瘍・胃炎治療剤「アルタット」等の売上減少をカバーするには至らず、売上高は94億6千4百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

動物用医薬品分野では、繁殖用薬とアミノ酸等機能性飼料の組み合わせによる相乗効果の発揮に努めました結果、売上高は9億1千7百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

そのほか、検査、医療機器、食品等の売上高は5千1百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

利益面では、売上高の減少および売上原価率上昇の影響により、営業利益3億4千6百万円（前年同期比55.8%減）、経常利益4億1千4百万円（前年同期比52.8%減）、四半期純利益2億9千5百万円（前年同期比41.9%減）とそれぞれ減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ23億3千8百万円増加し、536億8百万円となりました。これは主に有価証券および現金及び預金等が増加したためであります。

負債につきましては、14億3千7百万円増加し、187億6千5百万円となりました。これは退職給付に係る負債等は減少しましたが支払手形及び買掛金等が増加したためであります。

純資産につきましては、9億1百万円増加し、348億4千2百万円となりました。これは退職給付会計基準の改正に伴う会計処理の変更および四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したためであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から1.2ポイント低下し64.9%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成26年5月13日の決算発表時の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見

込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が832百万円減少し、利益剰余金が536百万円増加しております。なお、勤務費用の計算方法が変更されたことによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を当第1四半期連結会計期間より適用しておりますが、当期首より前に信託契約を締結し、従来採用していた方法による会計処理を継続しておりますので、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,269	5,099
受取手形及び売掛金	7,442	7,250
有価証券	2,650	3,850
商品及び製品	6,422	6,623
仕掛品	913	1,039
原材料及び貯蔵品	1,896	2,370
その他	2,520	2,355
流動資産合計	26,115	28,590
固定資産		
有形固定資産	12,400	12,586
無形固定資産	695	624
投資その他の資産		
投資有価証券	7,220	7,447
その他	4,933	4,459
貸倒引当金	△113	△113
投資その他の資産合計	12,040	11,793
固定資産合計	25,137	25,004
繰延資産	16	12
資産合計	51,269	53,608
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,074	5,990
短期借入金	1,441	1,963
その他の引当金	1,176	669
その他	2,537	3,074
流動負債合計	9,229	11,698
固定負債		
退職給付に係る負債	7,444	6,648
その他の引当金	292	260
その他	360	157
固定負債合計	8,098	7,067
負債合計	17,327	18,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	33,107	33,744
自己株式	△2,487	△2,479
株主資本合計	32,663	33,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,642	1,857
退職給付に係る調整累計額	△399	△391
その他の包括利益累計額合計	1,242	1,465
少数株主持分	35	68
純資産合計	33,941	34,842
負債純資産合計	51,269	53,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	10,541	10,433
売上原価	5,762	6,100
売上総利益	4,778	4,333
返品調整引当金繰入額	4	△2
差引売上総利益	4,774	4,336
販売費及び一般管理費	3,989	3,989
営業利益	785	346
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	62	78
不動産賃貸料	54	57
その他	5	10
営業外収益合計	123	148
営業外費用		
支払利息	2	3
賃貸借契約解約損	—	63
その他	28	13
営業外費用合計	30	80
経常利益	877	414
特別利益		
関係会社株式売却益	—	58
特別利益合計	—	58
税金等調整前四半期純利益	877	472
法人税、住民税及び事業税	17	22
法人税等調整額	352	121
法人税等合計	370	143
少数株主損益調整前四半期純利益	507	328
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	32
四半期純利益	508	295

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	507	328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203	214
退職給付に係る調整額	—	8
その他の包括利益合計	203	223
四半期包括利益	710	551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	712	519
少数株主に係る四半期包括利益	△1	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	9,595	945	10,541	-	10,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	12	12	△12	-
計	9,595	957	10,553	△12	10,541
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,224	64	1,288	△503	785

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△503百万円には、各セグメントに配分していない全社費用△503百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	9,464	969	10,433	-	10,433
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	12	12	△12	-
計	9,464	981	10,445	△12	10,433
セグメント利益又は セグメント損失(△)	768	72	841	△494	346

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△494百万円には、各セグメントに配分していない全社費用△494百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社グループのセグメント区分は、従来、「医薬品事業」および「その他の事業」の2つの事業セグメントに区分し、「医薬品事業」を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「医薬品事業」「動物用医薬品事業」および「その他の事業」の3つの事業セグメントに区分することといたしました。

これは、平成26年6月に実施したあすかアニマルヘルス株式会社への事業の分割に伴い、医薬品事業の意思決定プロセスを見直した結果「医薬品事業」に含まれておりました動物用医薬品等の製造、販売ならびに輸出入に関する事業を「動物用医薬品事業」に区分したためであります。ただし、「動物用医薬品事業」と「その他の事業」については重要性がないため報告セグメントに含めず、「その他」として表示し、「医薬品事業」を報告セグメントとしております。

なお、当該セグメント区分の変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しております。

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、報告セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更いたしました。

なお、この変更による各セグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

4. 補足情報

(1) 主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
(平成27年3月期 第1四半期実績)

(単位:億円)

品 目 名	前 期 平成26年3月期		当 期 平成27年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第1四半期 実績	年間実績	第1四半期 実績	年間見込	
甲状腺ホルモン剤 チラーヂン	12.4	46.0	12.7	48.4	2.8
高脂血症治療剤 リピディル	10.4	44.2	12.1	45.7	16.7
経皮吸収型鎮痛消炎剤 セルタッチ	12.5	34.5	8.7	17.5	△ 30.8
高血圧症治療剤 アムロジピン	5.1	18.7	4.9	16.9	△ 4.4
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	5.5	21.2	4.7	18.9	△ 15.6
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リユープロレリン	-	3.2	3.7	23.3	-
前立腺肥大症・癌治療剤 プロスタール	4.6	16.3	3.7	15.4	△ 20.1
消化性潰瘍・胃炎治療剤 アルタット	3.2	11.9	2.8	10.9	△ 12.4
プロトンポンプ阻害剤 ラベプラゾール	1.9	8.4	2.3	9.1	16.4
緊急避妊剤 ノルレボ	1.6	7.0	2.0	7.4	24.3
経口避妊剤 アンジュ	3.0	12.2	1.9	11.0	△ 34.9